

## 「がんゲノム医療」に携わる看護師に必要な 基礎知識を読み解く

第3期がん対策推進基本計画において、ゲノム医療を必要とするがん患者が、全国どこにいても、がんゲノム医療を受けられる体制を構築することが、施策としてあげられています。「ゲノム医療対応型がん看護専門看護師リカレントコース」では、がんゲノム医療における最新情報を共有し、看護師が果たすべき役割について検討することを目的として、今年から5年間定期的にセミナーを開催する予定です。

がん看護に携わられている皆様のご参加をお待ち致しております。

日時：2018年2月24日(土) 13:00～16:00

場所：CIVI 研修センター新大阪東(E705)

\* JR「新大阪」駅下車 東口から50m

対象：専門看護師、修了生、CNS コース  
大学院生、教員(先着 80 名)

講師：松本 繁巳先生

(京都大学腫瘍薬物治療学講座/腫瘍内科准教授)



\* 事前申し込みとなります。

以下へアクセスの上、必要事項(氏名、ご所属、連絡先、領域等)を、  
2018年 **2月13日(月)**までにご登録下さい。

<http://apnhyogo.net/seminar/>

—主 催—

兵庫県立大学大学院看護学研究科

多様な新ニーズに対応する

「がん専門医療人材（がんプロフェッショナル）」養成プラン

(責任者：内布 敦子)

## ■講師紹介

### 松本 繁巳(まつもと しげみ)先生

2003年より京都大学医学部附属病院外来化学療法を一元的にご担当。  
臨床医の立場から、がん化学療法の個別化治療、新規がん治療の開発、効率的な癌化学療法データベースの開発を研究テーマとし、最新のがん治療について多数講演。

専門医/認定医等資格…がん治療認定医機構 がん薬物治療指導医・認定医、臨床腫瘍学会指導医・がん薬物療法専門医、内科学会認定内科医、消化器病学会指導医、消化器内視鏡学会指導医

## ■講演内容

がんゲノム医療の現在の状況を交え、次のような講演内容を予定しています。

- ① クリニカルシーケンスの実際
- ② 「遺伝子パネル検査（がん等に関する遺伝子を複数同時に測定する検査）」  
例) 個別化医療、コンパニオン診断など
- ③ がん医療における「プレシジョン・メディシン」(Precision Medicine)  
例) バイオマーカー、ゲノム創薬、臨床試験、予防の視点など
- ④ がんゲノム知識データベースの構築  
例) 臨床試験の大規模プロジェクト「遺伝子スクリーニングネットワーク SCRUM-Japan (スクラム・ジャパン)」の概要

最後に、これらを踏まえた上で、看護に求められる役割の方向性について考えていく予定です。

連絡先:兵庫県立大学看護学部内 がんサポート事務  
兵庫県明石市北王子町 13 番 71 号  
TEL/FAX : 078-925-9434  
E-mail : gan-support@cnas.u-hyogo.ac.jp



兵庫県立大学 大学院 看護学研究科

College of Nursing Art and Science, University of Hyogo